

| | | | | | | |
|---|--|--|--|--|-----|--|
| 宇部工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和03年度 (2021年度) | 授業科目 | 国語Ⅳ | |
| 科目基礎情報 | | | | | | |
| 科目番号 | 34001 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 1 | | |
| 開設学科 | 制御情報工学科 | | 対象学年 | 4 | | |
| 開設期 | 4th-Q | | 週時間数 | 2 | | |
| 教科書/教材 | テキストはない。毎時間資料を配付する。 | | | | | |
| 担当教員 | 畑村 学 | | | | | |
| 到達目標 | | | | | | |
| 1、基本的な図の書き方を理解し、課題に即した図解資料を作成することができる。 2、図解資料を使って、課題に即したスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 3、互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、テーマに関連した議論をすることができる。 | | | | | | |
| ルーブリック | | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 最低限の到達レベルの目安 (可) | 未達成レベルの目安 (不可) | | |
| 評価項目1 | 図解の方法を理解して、課題に即したかなり複雑な図解資料を作成することができる。 | 図解の方法を理解して、課題に即したやや複雑な図解資料を作成することができる。 | 図解の方法を理解して、課題に即した簡単な図解資料を作成することができる。 | 図解の方法を理解して、課題に即した図解資料を作成することができない。レジュメ資料のポイントを読解することができない。 | | |
| 評価項目2 | 図解資料を使って、課題に即したかなり高度なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 | 図解資料を使って、課題に即したやや高度なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 | 図解資料を使って、課題に即した簡単なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 | 図解資料を使って、課題に即したスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 | | |
| 評価項目3 | 互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連したかなり高度な議論をすることができる。 | 互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連したやや高度な議論をすることができる。 | 互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連した簡単な議論をすることができる。 | 互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連した議論をすることができる。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | | |
| 概要 | 第1学期開催。 図解の基本的な書き方を理解し、課題に即した図解資料を作成し、作成した図解資料を効果的に使った、優れたスピーチやプレゼンテーションが行えるようになることを目指します。 構造的な図解を用いた資料の作成（図解力）、聞き手を意識したスピーチやプレゼンテーション（プレゼンテーション能力）、人のスピーチやプレゼンテーションを聞いて、質問やコメントをしたり、議論に参加したりする力（聞く力、質問力、コメント力）等を向上させます。 | | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 図解の作成方法を学習した後、毎回さまざまな課題で図解資料を作成します。そして、作成した図解資料を使って、異なる方法でスピーチやプレゼンテーションを行います。課題は自己PRに関するもの、社会問題に関するもの、企画書を作成するなどであり、スピーチやプレゼンテーションは、基本的にペアや少人数グループで行います。この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートを課します。 | | | | | |
| 注意点 | 授業では少人数のグループを作り、スピーチやプレゼンテーションを行った後に、相互評価を行います。それが発表の評価になりますので、休まずに出席して下さい。 | | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | |
| 後期 | 4thQ | 9週 | | | | |
| | | 10週 | | | | |
| | | 11週 | | | | |
| | | 12週 | | | | |
| | | 13週 | | | | |
| | | 14週 | | | | |
| | | 15週 | | | | |
| モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 | | | | | | |
| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 国語 | 国語 | 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 | 3 | |
| | | | | 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。 | 3 | |
| | | | | 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。 | 3 | |
| | | | | 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 | 3 | |
| | | | | 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 | 3 | |
| | | | | 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 | 3 | |
| | | | | 実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 | 3 | |
| | | | | 収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。 | 3 | |
| | | 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 | 3 | | | |

| | | | | | |
|-----------------|----|------|--|-----|--|
| | | | 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。 | 3 | |
| | | | 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 | 3 | |
| 評価割合 | | | | | |
| | 発表 | レポート | | 合計 | |
| 総合評価割合 | 40 | 60 | 0 | 100 | |
| 知識の基本的な理解 | 20 | 40 | 0 | 60 | |
| 思考・推論・創造への適応力 | 10 | 10 | 0 | 20 | |
| 汎用的技能 | 10 | 10 | 0 | 20 | |
| 態度・志向力（人間力） | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 総合的な学習経験と創造的思考力 | 0 | 0 | 0 | 0 | |